

『2000年までに世界平和を達成するために』：追加検討

ジョン・ハドルストン、国際通貨基金専務理事室副室長

<概要>

1985年に、国連主催の国際平和年を記念にして万国正義院は、『世界平和への確証』を発行しました。そこに記した偉大なテーマを追求する意味で、私は、具体的な平和への進め方を提案した、『2000年までに世界平和を達成するために』を書きました。そのエッセイは1988年に本として出版されました。その提案は、平和についてのバハイの教えに基づいたものです。提案を要約しますと、下記の通りです。1) 世界のさまざまな平和運動は協力して、各国の政府に平和が優先されるよう訴えるべきです。2) 世界のすべての政府が代表を送る世界大会を開いて、2000年までに恒久的の平和を目指して、下記の七つの条約を検討して、承認すべきです。3) 第一の条約は、ある国が別の国を攻めることを、その原因を問わず、禁じるというものです。4) 第二の条約は、各国が自分の攻撃用の兵器を廃棄するというもの。5) 第三の条約は、ある国が他の国を攻撃した場合、その国に対して他の各国が実行する制裁を強める方法を定めるというもの。6) 第四の条約は、国連の安全保障理事会が任命する、世界平和協議会を設立するというもの。この協議会の主な役割は、国際司法裁判所の判決を実行に移すこと、制裁の開始と停止の宣言を含む、平和維持を行うこと、そして(下記8に説明されている)国際平和部隊に対する権限を持つことです。7) 第五の条約は、国際司法裁判所の権威を広め、強化をするというもの。8) 第六の条約は、国際平和部隊を設立するというもの。9) 第七の条約は、国際平和部隊を経済的に独立させるというもの。10) 三つの補助提案のうちの一つ目は、女性がもっと社会問題に取り組むように一特に女性の団体が平和に優先的に取り組めるように一奨励するというもの。11) 第二の補助提案は、あらゆる教育レベル(小学校から大学まで)において、平和教育を組織的に取り組むというもの。12) 最後に、戦争を奨励する言葉使いや、他国を怪しくみせるような活動を、積極的に、また、総合的に廃棄するというもの。

この12の提案は、冷戦がまだ続いていた6年前に出されましたが、その6年間に、世界がいろいろ変わったというの事実です。しかし、その変化を意識しながら、この提案を検討し直すと、世界が今まで以上にこの提案を実行に移す必要性が感じられます。